

ネットワーク

発行日 平成21年2月19日

発行 白石地区ネットワーク会議

責任者 情報交流部会長 木村 幸男

札幌市白石区本通1丁目南2-32

電話 860-1431(白石会館内)



青パト車の会結成される

白石地区青色回転灯装備者連絡協議会の総会が、昨年12月4日白石会館にて結成された。

総会は、白石地区ネットワーク会議の生活安全部会が発起人となり青パト実施者（各町内会の協力賛同者）により構成され、白石地区23町内会を4つのブロックに分け全域にわたる自主防犯パトロール活動を実施します。

＊南郷ブロック（南郷丘・栄通西町・南郷3丁目・栄通二、三・コープ野村南郷・南郷友和会・南郷中央会）

＊中央ブロック（中央第一・中央第二・中央第三・中央第四・中央第五）

＊本通ブロック（中央南親交会・中央東親交会・本通親和会・駅前地区振興会・中央鉄道）

＊共栄ブロック（共栄第一・共栄第二・共栄第三・共栄第四・共栄第五・柏丘）

結成の目的は、幾つかの町内会で実施していた青色回転灯装備者を効率よく、効果的に運用出来ないだろうか、ネットワーク会議で決定し準備、発足しました。



青色回転灯装備者連絡協議会総会風景

白石地区ネットワーク会議生活安全部 部会長 佐藤 昌幸

パトロール開始は、平成21年1月より週1回、各町内会をパトロールし、防犯活動・交通安全に青パト車20台（通学パトロール4台含む）で対応します。

白石区は防犯活動が盛んな区で、白石警察署管内の青パト数は120台登録されており、函館、帯広について全道3位、札幌10区の中では一番多い区です。



青パト車出発式(白石会館前)

実施者総勢58名で、取り組み実施します。

まだ、結成されたばかりで青パト車、組織等も充分とは、言えませんが安全・安心の街作りに貢献出来るよう、取り組んでまいります。

パトロール実施箇所は、基本的に公園、学校周辺その他必要と感じられた道路・場所を重点的に実施いたします。その他それぞれの町内会で青パト車を所有している町内会は、独自に自主的に従来どおり実施いたします。青パト車を含め町内会活動は、ボランティアですので皆様方のご協力・ご支援よろしくお願いいたします。

第5回

—白石・雪で遊ぼう！in南郷小学校—

白石区子ども課子育て支援係 松枝 有希

平成21年1月7日〔水〕南郷小学校グラウンドを会場に開催されました。

主催「白石・雪であそぼうin南郷小学校」実行委員会

当日は雪がちらつく天気でしたがスタッフ・参加者合わせて約230名の参加がありました。

参加した子どもたちは、中学生のお兄さんさんがそりを引いてくれる「汽車びっこ」や「色あそび」など北国ならではの雪の遊びを楽しんでいました。



“おくちにボン”で遊ぶ幼児たち

最後には会場近隣町内会からの協賛もあり「みかん拾いかけっこ」を楽しみました。

ゴールした子どもは実行委員会のスタッフやボランティアが作ったメダルを首にかけてもらい嬉しそうな顔を見せていました。

乳幼児や学生、地域にお住まいの方たちが世代を越え、ともに楽しい時間を過ごしていました。



“まとあて”で遊ぶ幼児たち

さっぼろ

—雪まつり手作りキャンドル体験—

白石地区連町女性部長 井元チエ子

第60回さっぼろ雪まつりを6,000本のキャンドルの光で祝うと言う企画に私たち白石地区女性部39名が協賛しました。

この企画は昨年の秋に「さっぼろ夢灯り」計画として、区役所地域振興課から女性部に持ち込まれ、白石区内では白石地区の女性部が協力することになりました。

1月26日に白石会館で北海道の地域文化を守る会会員のご指導のもと手作りキャンドルにチャレンジしました。

牛乳パックに溶かしたロウを流して、固まったら表面に絵や文字を描きます。みなさんが童心に返って大変楽しく、製作する事が出来ました。



雪まつり会場で手作りキャンドル風景

また、雪まつり期間中の2月7日(土)、大通り会場で午後4時より上田札幌市長をお迎えしてキャンドルに火をともし、大通り会場のほとんどの照明が約30分間落とされ、雪におおわれた大通り会場がパースデーケーキになったようでした。

私自身もキャンドル製作者の立場を忘れてしまうほど、幻想的な世界に引き込まれました。当日は土曜日の夜で会場は大変な数の観光客で埋まっていました。多くの観光客や立ち止まって眺める人々への心温かいプレゼントが出来ました事を、うれしく思いました。

白石地区青少年部研修会
「大麻汚染」と「児童虐待」の講話

白石警察署少年補導員連絡協議会会長 中澤 進也

昨年から今年にかけて一番大きな話題になった青少年問題は、青少年の大麻汚染と子どもが犠牲者となった児童虐待の二つでしょう。

この喫緊な二つをテーマにした「白石地区青少年部研修会」が2月13日に開催され、白石地区連合町内会と白石地区ネットワーク会議加入の各団体から、100名以上の参加者を得て有意義な研修会を行うことができました。

最初に白石警察署生活安課の石津教夫課長からビデオ上映後、「北海道での大麻汚染の実態」を中心とした講話がありました。

昨今、一流大学の学生、角界の力士等の大麻所持による逮捕が報道され、道内でも大麻所持の逮捕者の80パーセントが10代・20代の青少年と警察は発表しています。



講話に熱心に耳を傾ける参加者の皆さん

次に、昨年の10月北区の母親が娘を8年間にわたって監禁状態にしていた児童虐待問題やつい先日報道された同じ北区の2歳の女子幼児の虐待死などを中心に、札幌市児童相談所の久津間明夫児童虐待防止対応担当課長から、「札幌市の児童虐待の現状」についての講話がありました。

お二人講話を通して、私たちは21世紀を担う青少年の健全育成には、「地域の子どもは地域で守り、地域で育てる」という原点に戻り、行政・学校・家庭・地域がスクラムを組んで進んでいかなければならないことを痛感しました。

「新春子ども百人一首大会」

白石地区青少年育成委員会 金岩 恵栄

25回目の「新春子ども百人一首大会」が、去る2月11日、70名近い子どもたちが参加して白石会館を会場に開催されました。

主催は青少年育成委員会で、白石地区連合町内会と白石地区社会福祉協議会の二つが後援となって、財政的な支援を受けています。

ここ数年、少子化や子ども会育成者の減少などから参加する子ども会の数が減ってきており、昨年は8チームの参加にとどまりました。

その反省から本年度は地区内の児童会館やミニ児童会館に参加を呼びかけたところ、「柏丘児童会館」「西白石ミニ児童会館」「南郷友和会」などが新たに参加してくれ、12チームが出場する久しぶりに活気のある大会となりました。

北海道で普及している「百人一首」は本州のそれとは違い、下の句だけを読んで木の札を取るという独特のものです。たぶん、明治以降北海道に移住してきた先人たちが、冬の余暇として故郷の「百人一首」を簡略化して行ったものが、現在の形になったのではないかと思います。

読み手の声が朗々と響く中、五人1組1チームの子どもたちは真剣そのもの、日頃の練習の成果を発揮しようと小学校の低学年の児童を含め、耳と目を木の札に集中していました。

当育成委員会では、今後とも幅広く参加を呼びかけ、この北海道独自の伝統的な競技を継続していきたいと考えています。



真剣な目で札を見つめる子どもたち

平成20年度白石地区防災防火研修会

—非常食を体験・防災図上訓練—

白石連町防災防火 副部長 浅川 進

白石地区連合町内会と白石地区ネットワーク会議との合同で主催する、白石地区防災研修会が11月21日〔金〕午後6時30分より白石会館にて盛大に開催されました。

白石連町会長 黒澤昌保様の開会の挨拶のあと【これだけは守りたい・家庭の地震対策】をテーマにした防災ビデオが上映された。

また、白石消防署予防課防火推進係長、橋上勉様が【地震・災害等に於ける心得について】奥尻、阪神、十勝沖などの各地震災害についてのその被害者状況など解説、災害時の遭難、対処をいかにすべきかを説いた。講話のあと、参加者、連町48・ネット23・講師2・計73名全員が非常食を体験、お湯を注いで、出来上がるアルファ米、貝が入った混ぜご飯だが【大変美味しかった】と好評であった。

このあと、インタラクティブ研究所代表、安田睦子様による【防災図上訓練DIGについて】の講和があり、白石地区四つのブロックに分け地域の防犯マップを作成し、防災を視点に地域の現状や必要なものを地図上で知り、災害時の協力や防災意識を高めるためにも、地域住民に配布して、災害時に役立てるよう〔改編〕防災マップ作成に努力中でありませう。



防災研修会風景

行事予定

平成21年

4月「通学パトロール隊」の継続

初旬～11旬 白石地区 5小学校

主催 ネットワーク会議・青少年女性部

4月10日〔金〕「早朝街頭啓発」

【中央ブロック】

場所 中央2条3丁目『藤光鋼材前』

4月15日〔水〕

白石地区青少年育成委員会

定期総会 白石会館

4月18日〔火〕

白石地区連合町内会

定期総会開催 アサヒビール園

4月22日〔水〕

白石警察署少年補導員

白石支部総会 白石会館

4月24日〔金〕

白石地区ネットワーク会議

定期総会開催 区民センター

5月11日〔月〕 早朝街頭啓

【本通ブロック】

場所 本通2丁目『グランドバチンコ前』

編 集 後 記

本年度第6号は、白石地区連町・ネットワーク会議では地域の安全に配慮『青パトの会』を設立、今後は白石地区全域を安全・安心をモットーに、住民とともに協力して行きたいと考えます。

また、連町女性部は、初めての雪まつりに協賛し、キャンドル作りを体験、当日は会場周辺に花を添えた。今後とも宜しくご協力ご支援をお願いいたします。

—情報交流部一同—